



# 蜷川有紀展「薔薇の神曲」

YUKI NINAGAWA Exhibition La Divina Commedia Della Rosa

入場無料 2017.5.29 Mon.~6.18 Sun.

写真:中村博臣

PARK HOTEL TOKYO

主催:ソニー・デジタルエンタテインメント 協賛:旭酒造株式会社 協力:男子専科、株式会社なか道 後援:イタリア大使館



Ambasciata d'Italia  
Tokyo

# 薔薇の画家・蜷川有紀がダンテの『神曲』に挑戦する!

ダンテ『神曲 地獄篇』をテーマにした高さ3m×幅6mの大作『薔薇のインフェルノ』

蜷川有紀がダンテの『神曲 地獄篇』をテーマに、1年半の歳月をかけて岩絵具で描きあげた高さ3m×幅6mの大作『薔薇のインフェルノ』、ダンテの永遠の女性『薔薇のベアトリーチェ』、地獄での罪を償う『浄罪山』など、赤と青で構成された蜷川の新作を展示。“パークホテル東京”のアートラウンジが『神曲』の世界観で埋め尽くされます! 会場(25階)から、30mにもおよぶ壁面に映し出されるダイナミックな映像(夜のみ)、31階のアーティストフロアに展示された作品を通じて、ダンテ『神曲』の3部作、地獄~煉獄~天国の世界観をお楽しみください。また、蜷川有紀が今まで描いた代表作も一挙にご覧いただけます。

蜷川有紀の渾身の「飛躍」を見よ!  
谷川渥(美学者)

“薔薇の画家・蜷川有紀がダンテの『神曲』に挑戦する!” 思いがけぬ飛躍のようにも思える。だが、壮大な薔薇の相を示すあの「天国篇」を大団円とする構成を考えるなら、薔薇の画家のこの飛躍は自然なものとして納得できないわけではない。譬喩と象徴と寓意に満ちたこの恐るべき文学作品に対して、ジョット、ポッティチェリ以来これまで何人も画家が己が視覚的想像力を賭けてきたが、とりわけドレの作品群がこの試みにおける特権的位置を占めるらしい。なにはともあれ薔薇の画家の渾身の「飛躍」を見守らなければならない。

アルカイックの美、薔薇の螺旋の衝撃  
磯田道史(歴史学者)

蜷川有紀の作品をはじめてみた時の衝撃は忘れられない。それは太古の絵に近かった。まるで古代のシャーマン、神がかった巫女が一心不乱に体中から湧きあがる描く喜びを、壁面にぶつけて、そのリズムが、いつしか形象をなしている。そういう絵に久しぶりに出会ったと感じた。感動した。きっと蜷川の絵は彼女の体内にはじめから存在しているもので、それが勢いあまって、ほとぼり出たものにちがいない。迫りくる薔薇の螺旋のつらなりをみて欲しい。そこにいる生き物の目をみてほしい。その「アルカイック(太古からの無意識)の美」をみたとき、我々の精神のなかの何かが震わせられるのではないか。その震えに遭いたくて、ぼくは蜷川の絵の前に立つ。



『薔薇のインフェルノ』部分  
H300×W600 cm 和紙、岩絵の具、アクリル



『薔薇のベアトリーチェ』  
H86×W62 cm 和紙、岩絵の具、コラージュ



『薔薇のルチア』  
H86×W62 cm 和紙、岩絵の具、コラージュ



『薔薇のインフェルノ』部分  
H300×W600 cm 和紙、岩絵の具、アクリル



『浄罪山の麓で』  
H35×W25 cm 画材: 和紙、岩絵の具



『信頼の薔薇』  
H35×W25 cm 和紙、岩絵の具

作家 在廊日:会期中 毎週火水金土 14:00~17:00 および最終日。ギャラリーツアー:毎週水土 <予約不要・無料> 14:00~14:30

蜷川有紀 YUKI NINAGAWA

画家・女優。1978年、つかこうへい版『サロメ』にて、三千人の応募者の中から主役に選ばれ女優としてデビュー。1981年、映画『狂った果実』でヨコハマ映画祭新人賞受賞。以降出演作多数。2004年には、短編映画『バラメラバ』を監督・脚本・主演。2008年、Bunkamura Galleryにて絵画展『薔薇めくとき』を開催。同年度 情報文化学会・芸術大賞受賞。2010年、松坂屋デパートメントストア 100周年記念企画・蜷川有紀絵画展『薔薇まんだら』開催。以降、『薔薇都市』『薔薇迷宮』など大規模な個展を毎年開催し、岩絵の具で描き上げた作品が多くのファンを魅了し続けている。大正大学客員教授。(財)全国税理士共栄会文化財団 / 芸術活動分野選考委員、青森県立美術館アドバイザー等として多くの文化活動にも貢献している。

JR、東京メトロ・都営地下鉄「新橋駅」より徒歩約7分  
都営地下鉄大江戸線「汐留駅」直結(7、8番出口)  
新交通ゆりかもめ「汐留駅」直結

パークホテル東京  
〒105-7227  
東京都港区東新橋1丁目7番1号  
汐留メディアタワー(フロント25F)  
お問い合わせ  
03-6252-1111 (代) サロン予約  
(受付時間: 10:00~18:00)



アクセスMAP



supported by  
**獺祭**  
DASSAI